

(様式2(1))

事業所名 グループホームりんりの里

目標達成計画

作成日: 平成22年 6月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員1人1人の介護技術の力量が異なるためケアの方法が統一されていない。	事業所の職員が介護技術のレベル向上に取り組み、技術の力量の差をなくす。	事業所内での勉強会や、研修等によってスキアップを図る。	6ヶ月
2	34	利用者の急変や緊急の事態が発生時の対応について	事業所の全職員が急変や緊急の事態が発生時に、適切に初期動作を行えるようにする。介護技術のレベル向上に取り組み、技術の力量の差をなくす。	利用者の急変時等の対応に備えて、全職員が対応できるように知識、技術の取得に努める。	12ヶ月
3	35	非常災害時に利用者を迅速且つ安全に避難誘導が出来るか、確認する必要がある。	職員全員が非常災害時に迅速且つ安全に避難誘導出来るようにする。	年間の避難訓練において、非常設備の取扱い方法を理解すると共に避難誘導が迅速に行えるように訓練を行う。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。